



令和6年度、第3次遺骨収集派遣先の、マダラ州
ボギア地区「ボダ村」より「マナム島」を眺める
(写真会 余眞 滝沢祐一 氏撮影)

戦後80年と長野県ニューギニア会

今年は戦後80年、昭和100年の節目の年となり、各方面で記念の催しなどが企画されたり、執り行われている様子が報道されているのを目撃する。

長野県ニューギニア会も、終戦後の昭和44年2月11日に「東部ニューギニア会長野県支部」として設立され、昭和46年には「長野県ニューギニア戦友会」と改め、55年には「三世会」も発足したが、平成5年に現在の「長野県ニューギニア会」に統一された。先の大戦（広義には第2次世界大戦・日本では大東亜戦争・アメリカでは太平洋での戦いだつたため、太平洋戦争と呼び、連合国の中領を受けたからは日本でも太平洋戦争と呼ぶようになった）では県内三千四百七十四柱の尊い命が失われ、それを慰靈するために、今まで綿々と続き今年で57回目の慰靈大祭を迎えることとなつた。その間、

県護國神社に「嗚呼戦友」の碑建立、現地ニユーギニアのコイキンマリックの丘に観音像建立、戦没者芳名板の設置、碑の改修工事など多くの事業を成し

遂げてきた。また昭和52年より現地慰靈巡回団を派遣し具に鎮魂の地を訪れ慰靈した。また日本遺族会主催の「慰靈友好親善事業」(国の補助を受け1991年に始まり、ニューギニアを含む、中国、フィリピンなど多くの国や地域を訪ね全国約1万6千人余が参加)などを含めると40回を超える現地慰靈と思い、親を思い、伯父を

国事業も今年5月の「洋上慰靈」(長野県関係では、付き添いも含め8名参加)が最後となり往時を追憶して残念な限りだ。

57回の時を刻んだ「長野県ニユーギニア会」の慰靈祭は規模は縮小しても、慰靈の灯は変わらずに燈し続けて、御靈を鎮めるべく会員の皆さま共々、地道に歩み続けていきたいと思う。そして、世界

▽ 第57回 ニューギニア方面 戦没者慰靈大祭
並びに通常総会開催のお知らせ

● 慰靈大祭　　日時　　記
令和7年7月27日（日）
午後1時より
慰靈祭終了後引き続き直ちに開
護國神社本
● 通常総会

●通常総会 慰靈祭終了後引き続き直ちに開催します。 美須々会館

大勢様のご参加で意義深い慰靈祭と、総会に致しましょ

卷之三

【西部ニューギニア親善友好訪問団】 訪問記

平成3年から始まつた太平洋戦争激戦地への慰靈友好親善事業も35年経つた令和6年度をもつて終息することになりました。

本年2月3日から12日まで、本企画によるインドネシア共和国・西部ニューギニア地区への最後の親善訪問団が派遣され、この団員として現地へ赴いた

当会顧問・横田久氏がご都合によりご自身でレポートを取りまとめることが困難となりましたので、代わりにまとめた私（副会長・長田）の拙文によつて現地状況をご覧察いただければ幸いに存じます。

【親善訪問第一日目】

2月3日

- 結団式 13:10 九段会館にて（山下団長＝日本遺族会理事・長崎県連合遺族会長以下8団体14名の親善訪問団）



【親善訪問第二日目】

2月4日

- 大型バス 15:30 靖國神社昇殿参拝、集合写真撮影
- 宿泊 ホテル・相鉄グランドフレッサ東京ベイ有明泊 18:00 夕食会



【親善訪問第三日目】

2月5日

- 空路 00:48 出航
- 空路 00:45 途中ソロン寄航
- 06:45 マノクワリ到着
- 専用バスで マノクワリ地区慰靈巡拝
- マノクワリ初期兵站病院跡地で 個人慰靈祭

【親善訪問第四日目】

2月6日

- 空路 09:00 マノクワリ空港発
- 10:20 ジヤヤプラ着 専用バスで市内へ
- 専用バスで コタバル地区・ジヤヤプラコタバル（アベプラ）で個人慰靈祭

（旧名ホーランジヤヤ）
人口31万6千人
(日本との時差00:00)

ネシア共和国首都について、ジャカルタから東カリマンタン州ヌサンタラに首都移動を宣言した
(日本との時差-02:00)
人口2億2700万人
(世界第4位)

○マノクワリ泊
(日本との時差00:00)
人口13万6千人
ドネシア共和国西パプア州都として近代化され繁栄している

慰靈祭

- 宿泊 15:00 チェックイン
スイスベルホテル・

ネタール地区・ジヤヤ

アベプラ慰靈碑前にて

アベプラ慰靈碑前にて

アベプラ慰靈碑前にて

アベプラ慰靈碑前にて

アベプラ慰靈碑前にて

アベプラ慰靈碑前にて

【親善訪問第五日目】

2月7日

- 専用バス 09:30 小学校「SD Neger Impres Abeal 1」訪問 生徒のダンスで一行をお出迎え 校長先生と山口撮影
- 訪問団団長挨拶 記念



- 宿泊 ジャヤプラグ ランドアリソンホテル 泊
- ゲニム地区 (Genyem)



生徒数415名（14教室）
11:40 ゲニム地区にて
個人慰靈祭



- 14:40 旧モクメルの飛行場視察



○空路 10:00 ジャヤプラから 10:50 ビアクへ
○専用バス 13:40 ビアク島西洞窟 パプア州 北西部のビアク島地区 戰跡巡拝

ジャヤプラから西南方に向、セントラニ湖畔の景勝地 日本軍は連合軍の飛石作戦によりさらには西方のアイタペ・サルミ方面へと苦難の陸路を転進していった

【親善訪問第六日目】

2月8日

- 15:20 パライの日本政府建立 「第二次世界大戦慰靈碑」で清掃活動



- 宿泊 スイスベルホテル・チャンデラワシビル・アク
- ビアク島 かつて日本軍の飛行場があり、激しい戦闘があったここはメラネシア人が多く居住し、キリスト教徒の多い島である（人口約11万3千人）
- ホテル（ミーティングルーム）にて来賓を迎えて懇談会
- ホーリー・ミサ
- 来賓・観光省からRumpaidus MR の11名Alex Rumkabu MRとSD YPK Sorido 小学校校長先生：Mansal Ia Korwa MS、教師：Since Aponno MS および + 1名 生徒10名 計13名
- 生徒によるダンス・歌の披露、歓談

【親善訪問第七日目】

2月9日



- 空路 11:50 ビアクから 13:10 スラウェシ島・マカッサルへ
- 専用バス マハカベ邸市内視察
- 市内視察 マハカベ邸の戦争犠牲者慰靈碑にて個人慰靈祭
- マカッサルマカハベ邸の戦争犠牲者慰靈碑での孤児慰靈祭

による全戦没者追悼式・挙式

【親善訪問第八日目】

2月10日



- 宿泊 ホテル・サン
デイカマカッサル



- 空路 09..24 マカッサルから 10..40 バリ島 デンパサールへ
- 市内視察と買い物 デンパサール・ビンタン・パリリゾートとクリスナオレオレバリを散策
- 空路 20..45 デンパサールから 21..03

- マカッサルについて
市 南スラウェシ州の
州都 シガララン
- 人口 134万人 (時差-01..00)



2月11日

【親善訪問第九日目】

- 空路 00..00 ジャカルタから 09..13 東京・羽田へ
- 解団式 10..00 羽田空港ロビーにて
- 山下団長の解団挨拶あと慰靈巡拝団員はそれぞれ自宅への帰路についた

**【親善訪問第十日目】
2月12・13日**

- 空路 00..00 ジャカルタから 09..13 東京・羽田へ

- 小池 権衛様
有難うございました
- 田本父正人様
佃 美由紀様

- 島南部のリゾート都市
人口 720万7千人 (時差-01..00)

・次の方から寄付をお寄せいただきました
(順不同)

▼事務局から▲

めるに相応しい書籍です。
A五判204ページ価格は二千円です。

A五判204ページ価格は二千円です。

時時刻刻

※竹村氏の椰子の実はお休みとなります
五月月中旬に枝豆の種を蒔き、六月中旬にはオクラの種を蒔いた。いずれも適度のお湿りがあつたためか発芽率が良好で、早くも収穫の時期が待ち遠しくなった。★今から57年前に「長野県ニューギニア会」が蒔いた種は、鮮やかな大輪の花であつたり、57年の歳月はその時折変わりはあつても、宿根草の様に小さくとも毎年花を咲かせることに、意義があることだと思つ。★そんな可憐な小さな花であつても会の皆様と一緒に草を取り、水を撒き、地道に末長く、育てていきたい★今、世界の彼方此方で紛争の芽が顔を出している。そんなニュースを聞くにつけ、人間とは、人種とは、宗教とは、富とは、欲とは、はたまた権力とは、と考えさせられる★そんな芽は皆の力で摘み取らなければ、芽を摘む勇気も、花を咲かせる努力も、穏やかで心地よい平和な世界にすることに、変わりはないのだから。

戦争の実態を具に見つ
争の記憶を今に伝える書籍、「アジア・太平洋戦争の跡を訪ねて」を紹介いたします。

著者の唐澤昌弘氏は世界各地の戦跡を訪ね20余の歳月を費やし刊行されました。

戦後80年に当たり、戦争の記憶を今に伝える書籍、「アジア・太平洋戦争の跡を訪ねて」を紹介いたします。

当会発足当時からの年次表や、東部ニューギニア第十八軍隸下部隊情況表。第一回目の慰靈巡拝から20回目までの巡拝参加者名簿も記載されております。価格は発刊当時と同じ2千円です。

書籍紹介

・次の方が新たに入会されました
山本 健一様(上田市)
会の活動にご協力賜るよう宜しくお願ひいたします

当「長野県ニューギニア会」が平成9年6月に刊行した「椰子の記」が事務局の手元に6部あります。
御入用の方は、慰靈祭当日用意をしておきますのでお申出ください。

内容は、戦友の方々の生々しい記述や、ご遺族の皆さまの切実な思いも綴られています。

■椰子の記

ア五判204ページ価格は二千円です。